

# 製本のススメ

Vol. 216

今年の夏休みは各地で久々にお祭りなどのイベントが開催され、賑やかな夏が帰ってきましたが、残念ながら台風で中止のイベントも多く海や山のレジャーには痛い天候となりました。せっかくの夏休みですが、世の中うまく行かないものです

今回は**ノドには白抜きでしょ!**の話し

最近はおンデマンド機等の発達により少部数でフルカラーと言うような冊子も増えてきました。むろん良い事なのですが、クオリティの確保が大変難しい印刷物が増えていきます。

製本界や美術書などカラー印刷を専門に扱う印刷所では周知されている事なのですが使用する接着剤(ホットメルト)には次のような**劣性が確認**されています。

## ①使用できる温度範囲が限定されている

温度範囲とは糊が硬化してからの温度の事で、人が通常生活できる程度の温度です。炎天下の車内に放置する・氷点下の場所に置く様な場合が想定されるなら、予め糊の種類から選ばないとはいけません。

## ②耐溶剤性に劣る

今回のテーマはこれです。**ホットメルトが印刷インキ中に含まれる溶剤に侵されて本が壊れるという現象**です。文字物の場合には殆ど起こりませんが、写真集・美術書・地図帳・料理本などノド元まで多色刷りされたものに多く発生事例があります。

これは印刷インキ中に残っている溶剤が、時間の経過と共に紙中から滲みでてくるもので接着力を弱める原因と言われています。さらに環境対応型と言われる**大豆インキは従来のインキに使われている石油系溶剤に比べると揮発しにくく、その分ホットメルトに与える影響は大きくなります。**

ユーザーにとっては見開きで迫力のあるページは楽しみたいですから、ノド元までグッと広げてしまうでしょう。この時に本が壊れないように**印刷段階でノドに白抜き部分を作っておくことが大切です。**これは折丁全てに入れる必要があります。

例えば二つ折り(4ページ)ならば、1ページと4ページ部分のノドに白抜きだけでなく1ページから4ページまで**全てのカラーページに白抜きを作る必要が有ります。**



## Tea break

夏休みも終盤! 今年は自由研究に冊子を作りたいという親子が2組来ました。子供の作品ですがお母さんたちは力が入ります。つい横から手と口が出てしまう。子供達への指導よりも、お母さん達へイエローカードを出す方が多いかもしれません(笑) 「見守る」という事は子を育てる親として覚悟の表れでもあるのだなと実感しました。

弊社 HP は <https://www.iseki-seihon.com>

メールアドレスは [info@iseki-seihon.com](mailto:info@iseki-seihon.com)

ご登録の変更をお願い申し上げます

by (株) 井関製本